

音 楽が紡ぐ 優しい時間

9月14日 あづみのつむぎ音楽祭



市制施行20周年を記念してギターやバイオリンなどの弾き語りを楽しむコンサートが穂高神社で開かれました。当日は4組のアーティストが出演し、訪れた人は会場を包む温かな音色にリラックスした表情をみせていました。コンサート前には菓子やクラフト雑貨を販売するマルシェも開かれ、多くの人が出店者との交流を楽しんでいました。

参加した田口文菜さん(30・穂高有明)は「アーティストと会場の雰囲気ぴったりで素敵な時間を過ごせた」と息子の空縫木くん(8カ月)と笑顔を見せてくれました。

生 きものの不思議に 興味津々

9月14日 ココリコ田中さんと学ぼう! あづみ野の生きものたち



お笑いコンビ・ココリコの田中直樹さんをゲストに安曇野の生き物を学ぶ学習会が豊科公民館ホールで開かれました。この学習会は環境フェアのプレイベント。田中さんと三郷昆虫クラブ世話人・那須野雅好さんとのトークを約550人が楽しみました。田中さんは「外来種は悪というイメージがあるが、それは人間側の都合。たくましさがあり一生懸命生きている」と生き物の多様性をユーモラスに展開しました。学習会の最後にはクイズ大会も行われ、正解した望月晴臣さん(10・明科七貴)は「大好きな昆虫もネコも大切に、しっかり人生を歩みたい」と話してくれました。

光 る汗とはじける笑顔 都市型スポーツを体験

10月4日 アーバンスポーツフェスティバル

ダブルダッチやスラックライン、ブレイキンなど、限られた空間でも気軽に楽しめる都市型スポーツを体験できるイベントがANCアリーナで初めて開かれました。当日は3X3プロリーグや2028年信州やまなみ国民スポーツ大会で安曇野市が競技会場となっているウェイトリフティングの体験会も同時開催。それぞれの競技で活躍している人が訪れた親子や幅広い世代にスポーツの魅力やコツを伝えていました。

また、メインアリーナでは体力測定も行われ、来場者が握力や反復横跳びなどに挑戦していました。参加した相子雄一さん(39・三郷温)は「20回シャトルランが楽しみ。100回は目指したい」と意気込み、この日最高となる112回を記録していました。

**プ** ロの熱戦 会場に響く大歓声

9月13日 2025-26 プレシーズン安曇野ゲーム



プロバスケットボール男子B2リーグの信州ブレイブウォリアーズと韓国の水原KTソニックブームとのプレゲームがANCアリーナで行われました。会場には約1,700人の観客が集結。間近で繰り上げられるプロの白熱したプレーに会場からは大歓声が起こっていました。試合は惜しくも77対85で敗れましたが、要所で新規加入の選手が活躍。勝久マイケルヘッドコーチは「若い選手も経験を積めた。シーズンに向けて調整したい」とコメント。母とゲームを見に来ていた小坂蒼太くん(12)は「遠いところからシュートが入ってすごい」と目を輝かせていました。

奥 田夫婦が語る 撮影当時の舞台裏

9月13日 千利休本覺坊遺文上映会&トークショー



名誉市民の熊井啓監督作品上映会と、主演俳優の奥田瑛二さん、妻でエッセイストの安藤和津さんによるトークショーが豊科公民館ホールで開催され、約350人が来場しました。奥田さんは「熊井監督は作品に命を懸ける人だった」と語り、厳格な現場とは対照的に自宅では妻・明子さんと穏やかに寄り添う姿が印象的だったと紹介。安藤さんも、明子さんが監督の作品を真剣に見つめる姿に感銘を受けたと当時を振り返りました。最前列で聞いていた市内の70代女性は「熊井夫妻と奥田夫妻、それぞれの人柄や本作品にかけけるプロ意識の高さを改めて感じた」と話してくれました。

世 界へ誇る技術に触れて 働くイメージ鮮明に

9月3日・4日 オープンファクトリー2025

ものづくり企業が学生に生産現場を公開し、仕事の魅力を伝える取り組みが市内で開かれました。3日は首都圏などと安曇野を結ぶ無料バスを利用して11人の学生が参加し、(株)ハーモニック・ドライブ・システムズ、(有)多田プレジジョン、(株)アズミ村田製作所を訪れ、担当者から説明を受けたり工場内を見学したりして、将来のイメージを膨らませていました。

実家への帰省中に参加した持田拓海さん(23・福岡県)は「電子情報工学を学んでおり、地元への就職を考えている。世界に誇る高い技術を間近で見ることができて貴重な機会になった」と就職活動への意欲を語りました。この取り組みは12月23日・24日にも開かれます。

